とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0129
施設名	椎名町ひまわり保育園
施設所在地	東京都豊島区南長崎3-35-8
法人名	社会福祉法人育和会

１．活動のテーマ

＜テーマ＞

子どもたちが遊びこめる室内環境を作る

＜テーマの設定理由＞

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）
子どもが自分であそびを選び、あそぶため、「あしたもあそぼうね」と続きのできる配慮などをし「ここにも家作りたい」と発想して自由に遊ぶ姿を見てきたので、例えば１歳児に合う広さや重量のあるままごとの棚や安心して遊べる空間づくりのできるものを用意していきたい。

２．活動スケジュール

日々の遊びの中で、子どもたちの”やってみたい””楽しかった、またやりたい”を積み重ねていく。

３．活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）
年齢にあった高さ、重量感、イメージの広がりやすさに配慮した棚や玩具を用意した。

４．探究活動の実践

＜活動の内容＞

イメージが広がるようなままごと棚や遊びやすい・しまいやすい玩具棚等を設定し、子ども自身が“やってみたい”と思えるような環境作りをした。

＜活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり＞

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）

「お店屋さんやろうよ」と声が上がり、「いらっしゃいませ～」「ラーメンください」など店員とお客さん役に分かれてのやりとりを楽しむ姿が見られた（４・５歳児）。

保育者の「いいにおいがするな～」の言葉で、「ちょっとまってね！」とさらに意気込んで楽しんでいた。







５．振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

子どもの”やってみたい”から遊びが始まり、自然と役割を決め交代したり、コンロや水道など具体的な材料（棚）からイメージを膨らませながら楽しむ姿が見られ、環境設定の大切さを改めて感じた。

これまでなかった棚が増えたこともあり、子ども自身が玩具を整理しやすく、遊びの継続にもつながっている。